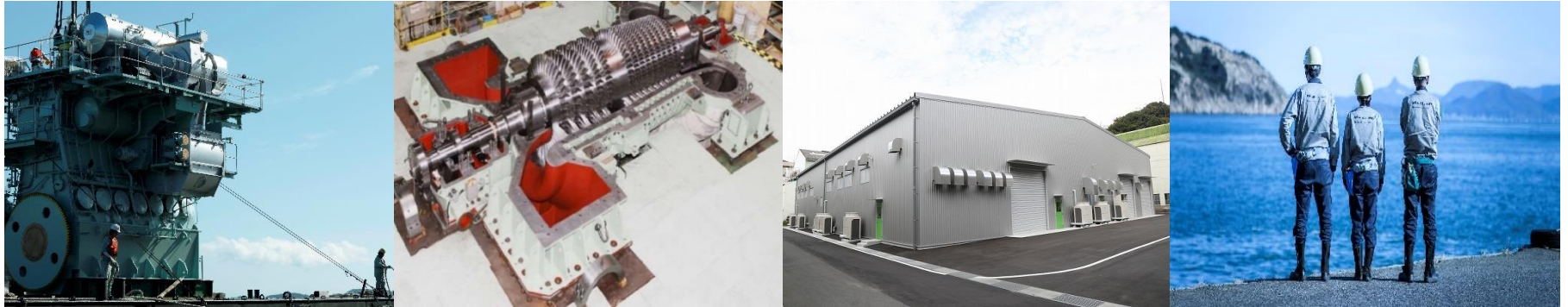


株式会社三井E&S

Group Information



#1 会社概要

#2 事業・製品

#3 仕事の特徴

#4 人材育成制度

#5 福利厚生・ワークライフバランス



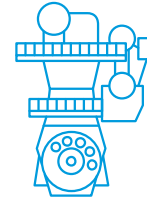
CONTENTS

#1

会社概要

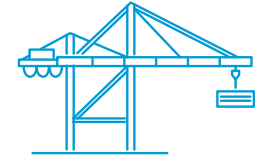
会社概要

社名	株式会社三井E&S
本社所在地	東京都中央区築地5丁目6番4号
創立	1917年(大正6年)11月14日
設立	1937年(昭和12年)7月31日
資本金	3829百万円 (2023年3月31日現在)
代表者	代表取締役社長 CEO 高橋 岳之
売上高(連結)	2,623億円(2022年度)
グループ会社	100社以上
発行可能株式総数	150,000,000 株 (2023年3月31日現在)
発行済株式総数	89,737,117株 (2023年3月31日現在)
株主数	48,928名 (2023年3月31日現在)
従業員数	連結 5,747人 (2023年3月31日現在)



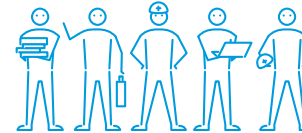
船用ディーゼルエンジン
国内シェア

No.1



港湾用コンテナクレーン
国内シェア

No.1



従業員数
(2023年3月31日)

5,747人



グループ会社数

100社以上

三井造船株式会社

株式会社三井E&S



2018年: 持株会社体制に移行し
「三井E&Sホールディングス」
に社名を変更
2023年: 「三井E&Sホールディングス」
「三井E&Sマシナリー」
「三井E&Sビジネスサービス」
の3社が合併、新体制へ移行

1917年: 旧三井物産造船部として
玉野の地にて創業

2023年: 成長と収益力向上のため
新体制に移行

三井E&Sは三井造船の歴史を継承する会社です

Engineering & Services for Evolution & Sustainability

未来に向けて

新生・三井E&Sとなるにあたり、社名のEとSに込める意味の見直しを行いました。
新しい商号のE&Sには、“**Engineering & Services for Evolution & Sustainability**” の意味を込めました。
持続可能な社会の実現に向け、エンジニアリングとサービスで貢献していくという、
私たちの存在意義(パーパス)を込めています。

企業理念

エンジニアリングとサービスを通じて、
人に信頼され、社会に貢献する。

ビジョン(目指す姿)

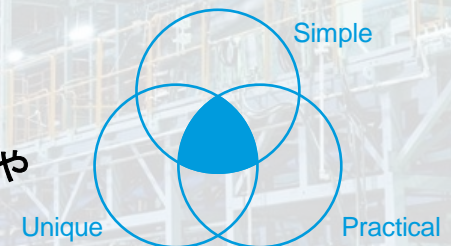
2030年までに、マリンの領域を軸に、
脱炭素社会の実現と、
人口縮小社会の課題解決を目指す。

経営姿勢

新しい価値の創造を顧客と共に実現
健全な財務体質と堅実な利益を追求
健康で安全に働ける環境整備を推進

行動基準

シンプル、ユニーク、
プラクティカルな製品や
サービスに挑戦



主要グループ会社

国内

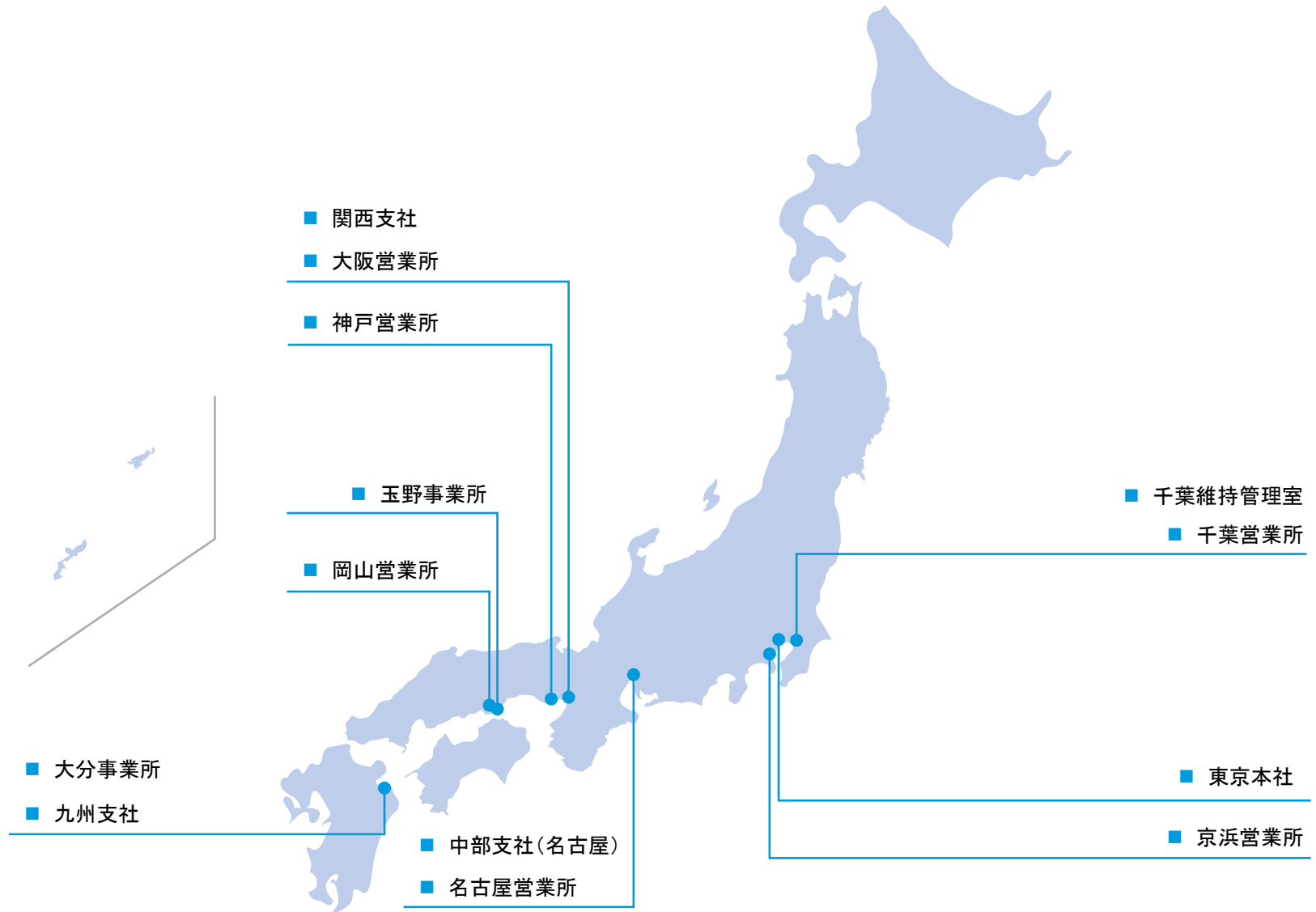


- 株式会社三井E&Sエンジニアリング
- 三井E&Sシステム技研株式会社
- 三井海洋開発株式会社
- 株式会社加地テック
- 株式会社三井造船昭島研究所
- 三井造船特機エンジニアリング株式会社
- 株式会社三井E&Sパワーシステムズ
- 三井ミーハナイト・メタル株式会社
- 三造加工株式会社
- 株式会社三井E&Sテクニカルリサーチ
- 株式会社アヅママシナリー

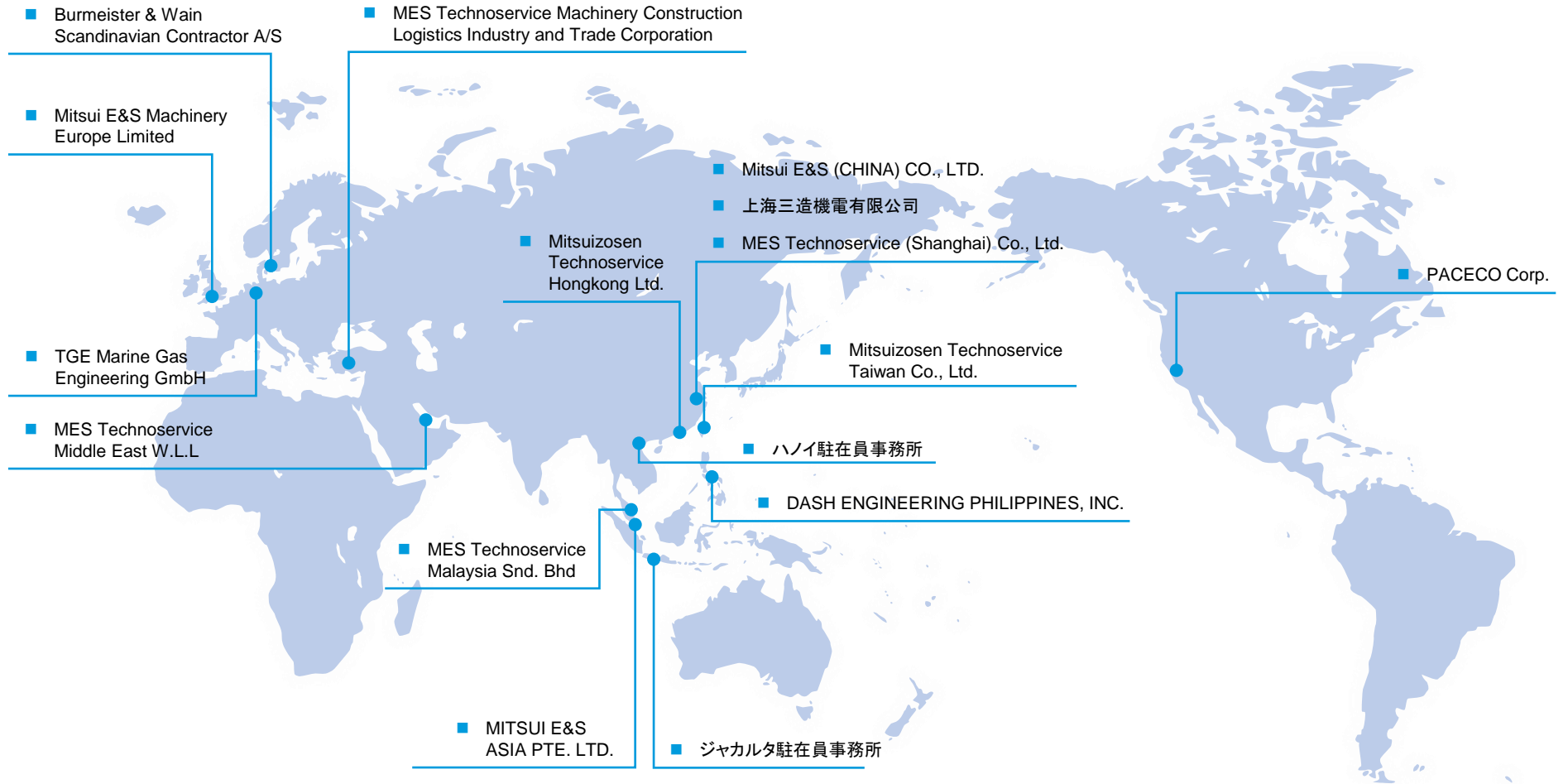
海外

- Burmeister & Wain Scandinavian Contractor A/S
- Mitsui E&S(CHINA) CO., LTD.
- MITSUI E&S ASIA PTE. LTD.
- DASH ENGINEERING PHILIPPINES, INC.
- TGE Marine Gas Engineering GmbH
- Mitsui E&S Machinery Europe Limited
- 上海三造機電有限公司
- MES Technoservice (Shanghai) Co., Ltd.
- Mitsuiosen Technoservice Hongkong Ltd.
- Mitsuiosen Technoservice Taiwan Co., Ltd.
- MES Technoservice Middle East W.L.L
- MES Technoservice Machinery Construction Logistics Industry and Trade Corporation
- MES Technoservice Malaysia Sdn. Bhd.
- PACECO Corp.

主要国内拠点



主要海外拠点





CONTENTS

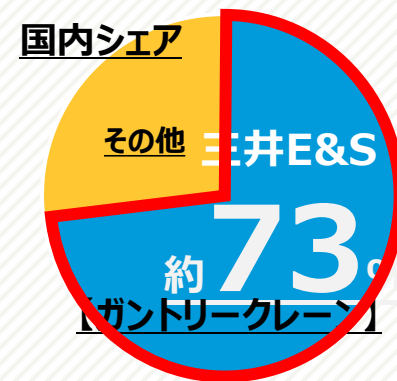
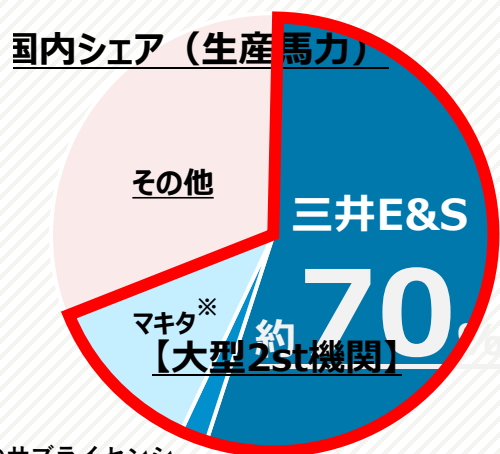
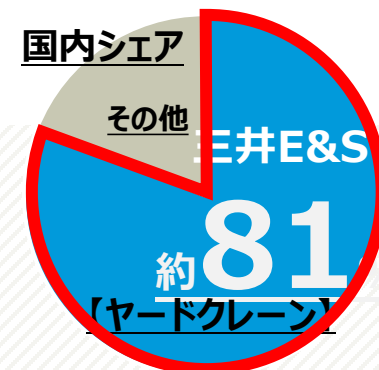
#2

事業・製品



参考 (2018年度)
日本の輸出総額 81.7兆円
日本の輸入総額 83.1兆円

国内海運輸送量 3.5億t
外貨コンテナ貨物輸送量
1,270万TEU (約2.8億t)

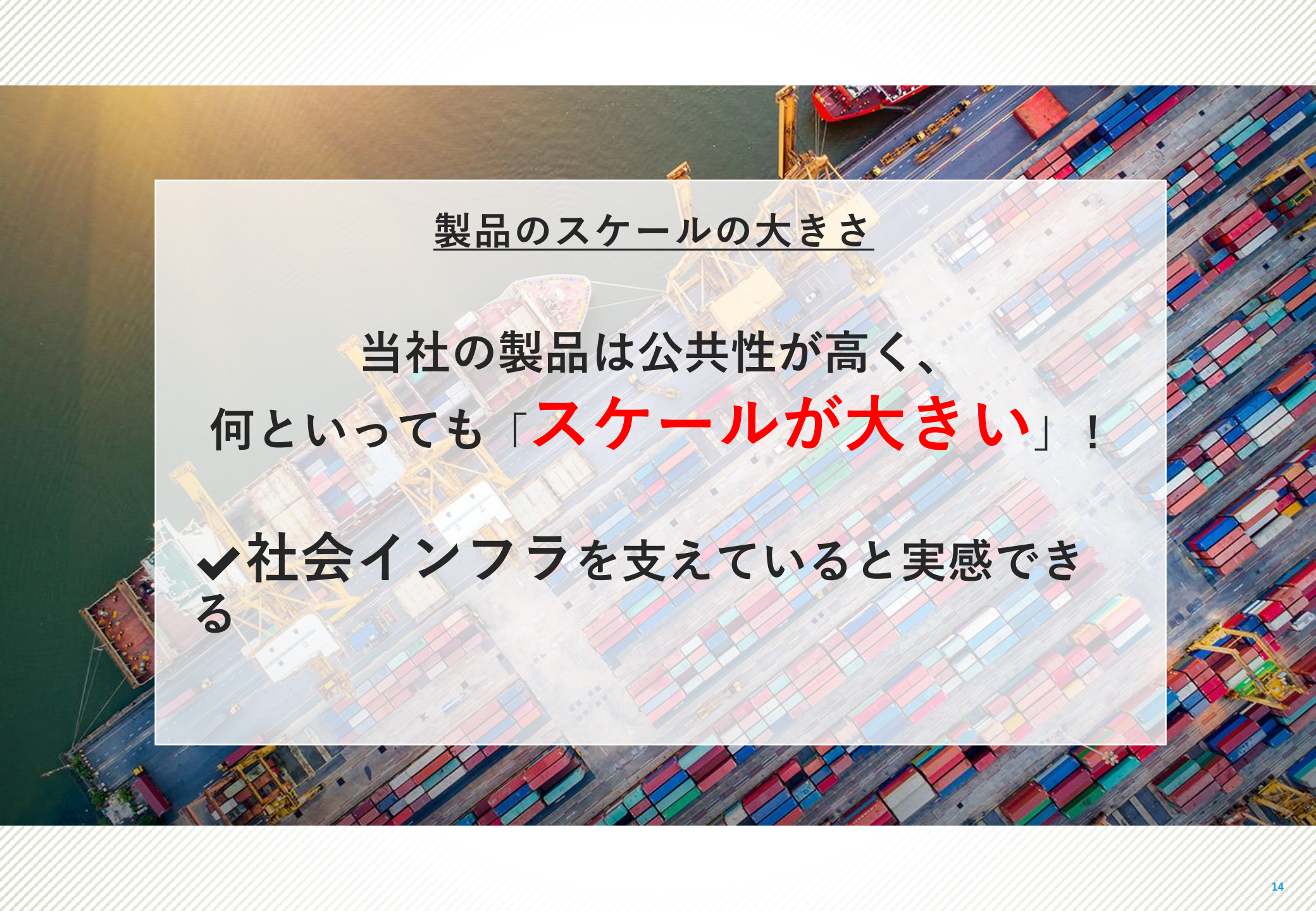


※マキタは当社のサブライセンシー
IHI原動機は2023年度から当社グループ

船用ディーゼルエンジン

港湾クレーン

国内シェア **No.1**



製品のスケールの大きさ

当社の製品は公共性が高く、
何とんでも「**スケールが大きい**」！

✓社会インフラを支えていると実感できる

主要事業・製品

船舶推進システム

- ① 主に大型のタンカー・貨物船などの船舶に搭載される低速ディーゼルエンジン。国内の造船所を中心に納入し、海外にも生産拠点もあり。
- ② 物流の99%以上を担う海上物流を支えています。環境規制への対応も含めた性能やアフターサービスへの信頼の高さにより、国内シェアNo.1を獲得。
- ③ 今後は環境面への寄与につながる開発を行い、脱炭素社会への貢献を目指します。



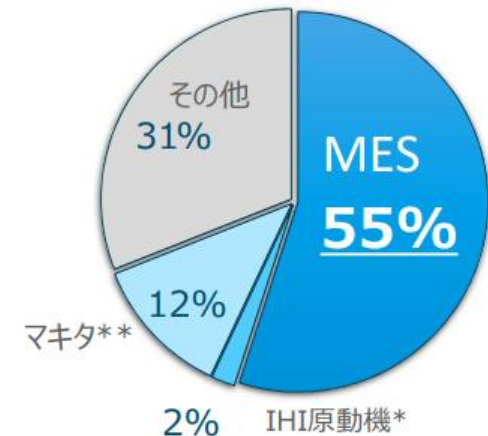
船用エンジン

製品の高度化

- ・水素燃料推進機構の技術開発
- ・アンモニア燃料機関の開発
- ・アンモニア燃料タンク・供給システムの開発

2022年1月～12月
船用ディーゼル機関 国内シェア

Source: KPデータ（低速2ストロークディーゼル機関）



*IHI原動機の大型船用ディーゼル機関事業を継承した三井E&S DUは2023年度から当社グループ

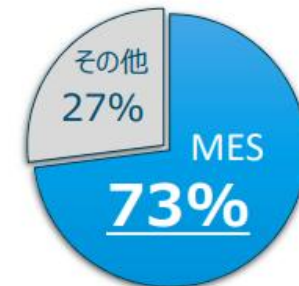
**マキタは当社サブライセンシー

主要事業・製品

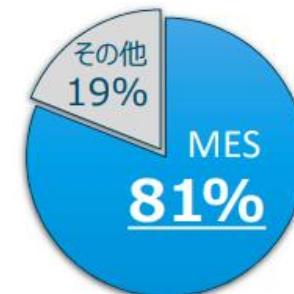
港湾クレーン

- ① 港で主にコンテナを運搬するクレーン。世界各国の港に納入。
- ② エンジンと同様に海上物流を支援しています。故障率の低さ等の性能面により、国内No.1シェアを獲得。水素燃料電池搭載など新たな製品開発に取り組んでいる。
- ③ コンテナクレーンのみならず、遠隔操作・自動化クレーンや、港全体の物流の運用・管理を自動化する「コンテナターミナルマネジメントシステム」を開発・納入している。

2022年度 ガントリークレーン（ポーターナ®）
国内シェア



2022年度 ヤードクレーン（トランスターナ®）
国内シェア



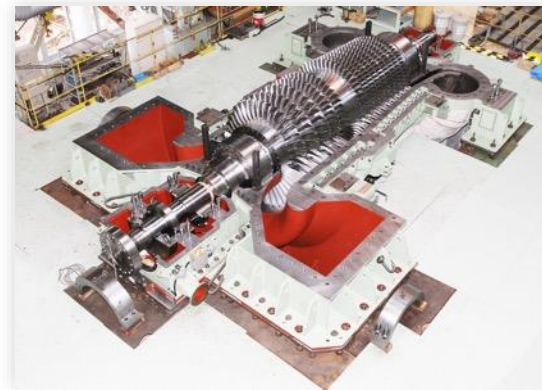
ポーターナ



トランスターナ

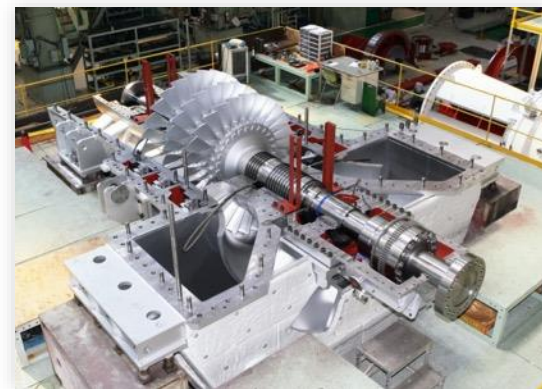
産業機械

- ① 石油精製/製鉄などの産業におけるプラント設備。世界トップクラスの実績を誇り、製鉄メーカーや石油化学メーカーを始めとした国内外のお客様に納入。
- ② 軸流圧縮機と炉調圧回収タービンは主に製鉄所の高炉で、往復動圧縮機は石油精製/化学などの様々なメーカーで使用されており、普段は見えにくい部分から社会を支援しています。製品の寿命が長く、長期稼働することでお客様設備の安定稼働に繋げ、世界のインフラを支えています。
- ③ 今後は水素関連事業用圧縮機等の提供を通じて、水素社会実現に貢献していきます。



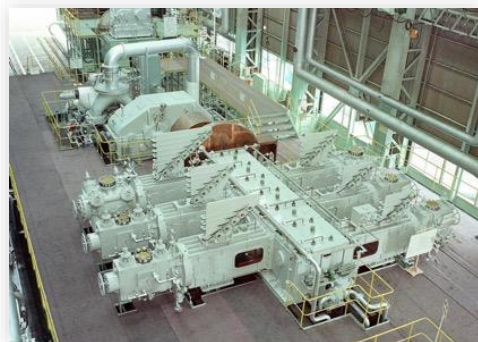
軸流圧縮機

製鉄所の製鉄(高炉の反応)に使う空気を送る送風機



炉頂圧回収タービン発電設備

高炉から出る排ガスを使って発電するタービン



往復動圧縮機

石油精製プラントに必要なプロセスガスを圧縮する装置

主要事業・製品

レーダ・ロボティクス

- ① トンネル・道路・橋梁など社会インフラの維持管理に、自社開発のレーダ技術とAI技術、ICT等を融合させ総合的な検査、解析サービスを提供。
- ② 国内原子力施設へのマニピュレータ納入実績は300基以上。原子力関連施設をはじめとする極限作業現場に、ロボット・マニピュレータなどの遠隔操作機器を提供し、社会的な課題解決に貢献している



レーダ探査



マニピュレータ

三井E&Sの強み

高いシェアを持つ中核事業製品と、その製品を最大限に活用するためのサービス・エンジニアリングの提供。
このハードとソフトを融合した総合力が三井E&Sの強みです。

船用エンジン

1926年にB&W社（現MAN Energy Solutions社）と技術提携を結んで以来、累計生産1億1,000万馬力、累計製造台数は7,000台を超え、世界の船用エンジンのリーディングカンパニーとして生産実績と経験を積み重ねています。



累計生産
1億1,000万馬力

国内シェア(2021年度)
58%

港湾クレーン

1968年、神戸港に日本初のコンテナ用クレーンを納入して以来、ガントリークレーン430基以上、ヤードクレーン1,600基以上を国内外のターミナルへ納入。産業用クレーンや自動化クレーン、環境対応型クレーンを含め国内のトップメーカーとして生産実績と経験を積み重ねています。



ガントリークレーン
国内シェア(2021年度)
67%

ヤードクレーン
国内シェア(2021年度)
92%

圧倒的シェアを誇る中核事業製品

ハードとソフトの総合力

サービス・エンジニアリング

システム・ソフトウェア

船用エンジンの状況を遠隔監視・異常診断するシステムや、コンテナターミナル運用を最適にマネジメントするトータルシステム等、ハードウェアに自社開発のソフトウェアも組み合わせたサービスを提供し、ライフサイクルソリューションを実現します。



e-GICS シリーズ
遠隔監視・診断システム



CTMS コンテナターミナル
マネージメントシステム

アフターサービス

納入後も製品の機能を最大限に活用していただくために、アフターサービス拠点を設置し、点検・整備、トラブルシューティング、技術相談等のニーズに迅速に対応しています。また自動化や環境対応、機能拡張等の改造にも対応しています。





CONTENTS

#3

仕事の特徴

仕事の特徴

1. B to B business

お客さまもプロフェッショナル。

企業、時には国家といったプロフェッショナルがお客さま。
お客さまと密なコミュニケーションを取り、仕事を進める。

2. Custom made

一品一品、受注生産。

顧客のニーズに合わせて仕様を決定する。
世界に一つしかないものを作っています。

3. Project team

社内外とタッグを組む。

一つの案件完了まで数年かかることも。金額も億単位。
部署や会社の壁を超え、協力してやり遂げる。

4. Global

世界を相手に仕事する。

三井E&Sグループの製品は世界中に納品されている。
海外売上高比率約60%。

職種の全体像

お客様に価値を提供するための、多種多様な役割があります。





■ 基盤技術開発

三井E&Sグループ全体の事業戦略に関わる基盤技術の研究開発。
解析や生産技術開発等、事業を下支えする、長期に取り組むべき技術の開発を行う。

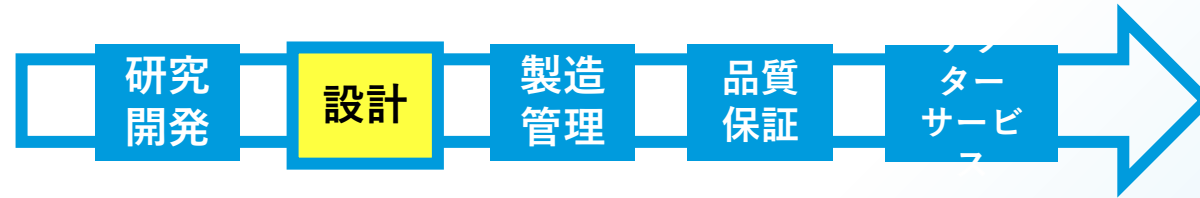
例：メタンハイドレート揚収技術の開発
熱流動解析技術の開発

■ 製品開発

事業に直結した、製品の改良や新製品の開発を行う。

例：ディーゼルエンジンの環境規制対応
コンテナターミナルの自動化技術開発
水素燃料電池搭載のコンテナクレーン
レーダー技術を用いた道路診断システムの開発

環境規制対応 # 自動化 # 遠隔操作 # レーダー技術 # 制御 # 解析



■見積設計・基本設計

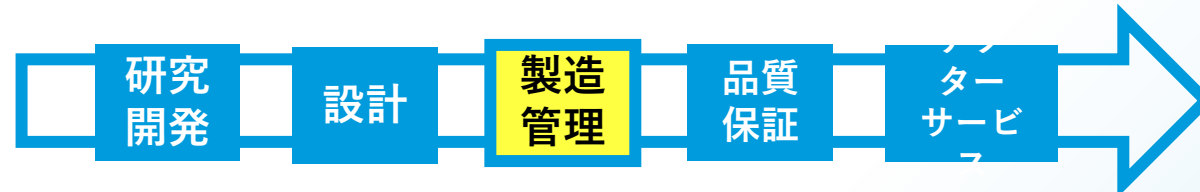
- お客様との打ち合わせを通して、要求される性能の全体像・製品の仕様・製造コストおよび納期を決定する。
- お客様の要望をいかに聞き出し具現化するかという提案が肝。

■詳細設計・実施設計

- 実際に製品をつくるための設計。
- 現場での作業を考慮・反映し、最適化することも重要。

(例) ディーゼルエンジンの基本設計、コンテナクレーンの制御設計、プロセス機器(圧力容器)の設計

船主 # 造船所 # 海外ライセンサー # CAD # 図面 # 顧客折衝 # 調整



■製造計画

人員・設備を最大限に用いた効率の良い製造方法・計画を考える。
工程管理、人員計画、定盤計画等

■製造技術開発

新しい溶接技術、加工方法の開発、導入、AI、IoT技術の活用等を行う。

■現場のマネジメント

現場に納得して、作業に従事し、力を発揮してもらうマネジメント力が必要。

(例) ディーゼルエンジン、プロセス機器の製造技術の開発、コンテナクレーンの海外製造拠点への発注、監督業務

計画 # 数値 # チーム # 生産設備 # 溶接 # 加工 # 省力化 # AI・IoT



■製品の検査・試運転

- 工場で製品が仕様通りに完成しているかの確認。
- 製品が大きいため、完成後だけでなく製造中も適宜検査を実施。

■製品の引き渡し、輸送、現地据付

- 製造工程において客先の窓口となる。
- 輸送方法の検討、現地据え付けの現場監督などを行う。

(例) ディーゼルエンジンの品質保証業務 (陸上運転担当、海上運転担当)
コンテナクレーンの工場内試運転、現地据付工事

試運転 # 調整 # 現地工事 # 顧客説明 # 海外出張 # 信頼 # ブランド

仕事紹介 - アフターサービス



■修理対応、部品供給

- 製品の不具合に対し、部品供給や修理対応を行う。
- 不具合が起これば、地球の裏側の海へも迅速にかけつける。

■予防保全

- 機械を不具合で止めないために、通信技術を用いた機器のリモートモニタリングの開発・導入や整備状況の改善、長期稼働した機器の改造・更新の提案を実施。

(例) コンテナクレーンの荷役高速化のための改造工事、ガスタービンのメンテナンス業務、航行中の船のディーゼルエンジンへの部品供給

定期検査 # トラブルシューター # 海外出張 # AI・IoT # 付加価値 # 利益



CONTENTS

#4

人材育成制度

人材育成制度

目標管理制度下のOJT(実務)に加え、階層別/ビジネススキル研修、ジョブローテーション制度により、社員の自律的なキャリアアップを支援します。

・階層別研修

階層別：年次・役職別 マネジメント力の早期強化／若手の早期育成（5年で一人前）			
管理	部長	ライン部長候補者研修	組織の課題を解決する
中堅	課長	マネジメント研修	LM候補研修
	課長補佐		
若手	主任	主任研修	自身の業務遂行能力を知る／課題解決を実践する
	3年目	3年目研修	2・4年目FUインタビュー
	新入社員	新入社員研修	
			ビジネスの基本を知る／自身の業務遂行能力を知る／課題解決を実践する

人材育成制度

・ビジネススキル研修

昨今は、技術力のみではビジネスチャンスを生み出せない時代。
 技術とサービスの両輪で海外展開を行い、事業構造や収益性を強固にしていく
 ために、自律的な学びの促進を図ります。

	戦略系	財務・経 理・法務	IT	思考系	英語	基礎技術	その他
上級	マーケティング基礎	会計検定講座	ビジネス実務法務講座	ITパスポート向け講座			情報セキュリティ(☎ラーニング) コンプライアンス(☎ラーニング)
中級				問題解決 ・意思決 定	英語学習 テキスト (3年目 以降)		人権・メンタルヘルス
初級				ロジカル シンキン グ(階層別研 修で実施)	英語講座 (1・2年目)	技術系対象 (力学・燃 焼工学・材 料力学・解 析技術など)	



CONTENTS

#5

福利厚生・ワークライフバランス

給与・休日・休暇

・給与と諸手当

初任給(現行) 専攻科卒226,500円 + 時間外手当
本学科卒205,000円 + 家族手当
通勤費

一時金(年2回 6・12月支給)

・休日休暇

完全週休2日制(土、日、祝日)

3大連休(5月、夏季、年末年始)

年間休日127日(2023年度)

年次有給休暇(入社時より22日)

結婚・出産・忌服休暇、リフレッシュ休暇(10年毎)ほか

■ 休暇、残業実績

・2022年度休暇取得実績

事務・技術職 19.2日/人(年間22日支給)

・2022年度時間外実績

事務・技術職 21.3時間/月

・フレックスタイム制(コアタイムなし)

・在宅勤務制度の推進

育児休業、介護休業

・育児休業取得実績

2022年度 女性 14人 男性 30人

・介護休業実績

2022年度 女性 1人 男性 1人

・看護休暇実績

2022年度 女性 0人 男性 2人

・介護休暇実績

2022年度 女性 0人 男性 2人



多様な生活スタイルを支援



MITSUMI E&S

Engineering & Services for Evolution & Sustainability